



10周年を迎えました!  
安芸市立学校給食センター



若手のホープ!  
の調理員さん

美味しくなれば  
子どもたちの喜ぶ顔  
を思い浮かべながら  
日々工夫と技術を  
積み重ねています



高知県産、安芸市産  
を中心に旬素材で  
栄養たっぷりの  
おいしい献立を  
考えています



施設管理、  
食材の調達から  
調理や配送、  
その後の温度管理まで  
チーム一丸となって  
安芸市の子どもたちに  
給食を届けています



給食センター主任  
平山さん



栄養教諭 中屋さん

市立小・中学校の子どもたちに、「安全で美味しい給食」を届けるため、安芸市立学校給食センターは平成28年1月に誕生しました。今年開設から10年の節目を迎えた給食センターのこれまでのあゆみをご紹介します。



### 食育

給食を「生きた教材」として、子どもたちは食べものの大切さや命、健康について学んでいます。



### 安心

栄養バランスに配慮し、アレルギー対応や衛生管理を徹底し、安心して食べられる給食を提供しています。



### 地産

地元食材や郷土料理を給食に取り入れ、食と地域のつながりを学ぶ機会としています。

#### 給食センター 10年のあゆみ

子どもたちに「おいしく、安心して食べてもらいたい」。その思いを大切に、給食センターは一つひとつの工程を丁寧に積み重ね、10年間歩み続けてきました。

給食を通して、食べものの大切さや地元の食材を知ることができるよう食育に取り組んでいます。

また、アレルギー対応や温度管理などの安全・衛生管理を、徹底しています。

これからも給食センターは、子どもたちの毎日の「食」を支える存在として、歩み続けていきます。



#### 給食がはじまって、変わった毎日

##### 保護者の声

給食が始まっていないお弁当の頃は、栄養バランスまで十分に気を配ることが難しい日もありました。特に夏場は衛生面への配慮も必要なため、給食の存在は大変心強かったです。朝の時間にゆとりが生まれたことも、日々の生活の助けになりました。

##### 子どもたちの声

給食のおかげで、苦手だった野菜も食べられるようになりました。新しいメニューも楽しみで、毎月献立表を見るのが待ち遠しかったです。

高校でお弁当になり、あたたかい給食のありがたみを改めて感じました。

